

大阪経済の情勢

(平成27年7月指標を中心に)

平成 27 年 9 月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、緩やかな回復基調が続いている」

需要面では、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。家電販売額(6月)、新車販売台数は減少したが、大型小売店販売額、コンビニ販売額は増加した。家計消費支出(近畿)は減少。投資は、下げ止まりつつある。非居住用建設投資は減少したが、住宅投資は増加。公共投資は減少。輸出は、緩やかに改善している。輸出額は29ヶ月連続で増加。主要国向けでは、中国向け以外の地域で増加。輸入額は5ヶ月連続の減少。関空取扱貨物量は増加。

供給面では、生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(6月)は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(6月)は上昇、全国の生産(7月)は低下。在庫循環は在庫調整・在庫減らし局面。雇用は、改善している。近畿の失業率は改善、所定外労働時間(6月)は減少。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。倒産では、件数、負債金額はともに改善。

先行きでは、景気動向指数(先行)は低下。今後は、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・貨物	
一致CI(大阪)		大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(近畿)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空取扱貨物量
7月		↑	↑	↓	↓	↑	↓	↑	↑
6月	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↑	↓

		供給				その他	
		生産		雇用		倒産	観光
		生産指数(大阪)	生産指数(全国)	有効求人倍率(大阪)	失業率*(近畿)	倒産件数*(大阪)	関空外国人旅客
7月		↓	↓	↑	↑	↑	↑
6月	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↑

※前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

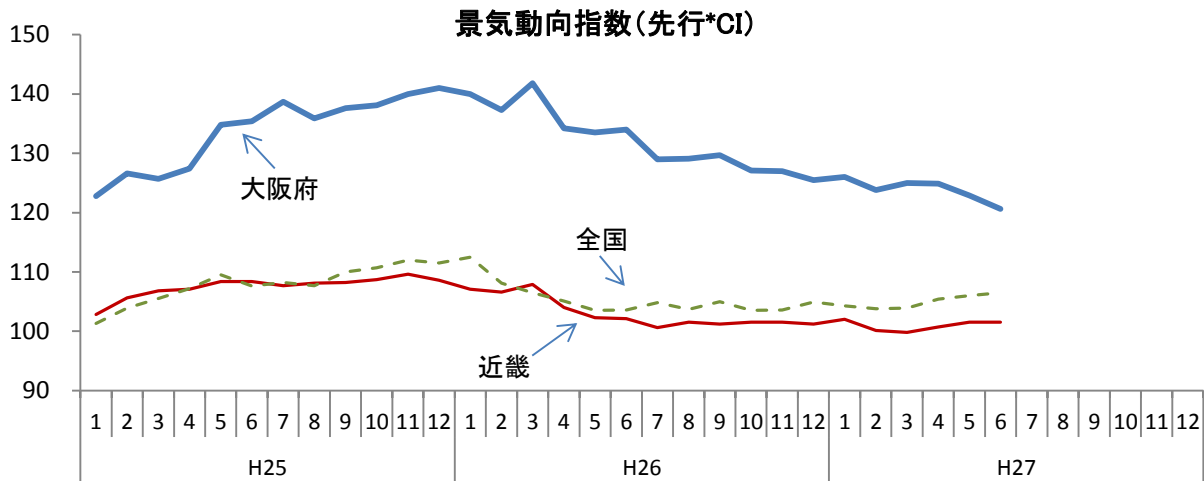
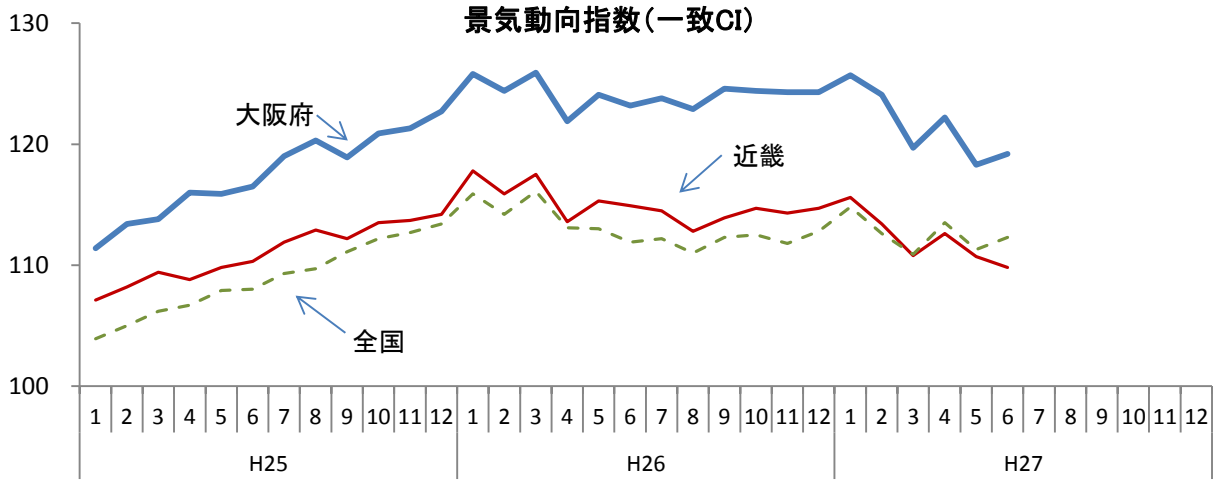
(参考)他機関の総括判断

	前回(27年7月公表分) (27年5月指標中心)	今回(27年8月公表分) (27年6月指標中心)
内閣府「月例経済報告」	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	景気は、このところ改善テンポにばらつきもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。
近畿経済産業局「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、緩やかに改善している。	近畿地域の経済は、緩やかに改善している。
日本銀行大阪支店「近畿地域金融経済概況」	近畿地域の景気は、回復している。	近畿地域の景気は、回復している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(6月)では、一致CIは上昇、先行CIは低下。大阪府(一致CI)では、主に「所定外労働時間指数(製造業)」、「生産財出荷指数」が上昇に寄与。近畿(6月)では、一致CIは低下、先行CIは横ばい。全国(6月)の一致CIは上昇。】



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」
 ※ 先行 CI は、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致 CI

H22=100	27年5月	6月	7月
大阪府	118.3	P 119.2	
近畿	110.7	P 109.8	
全国	111.3	112.3	

先行 CI

H22=100	27年5月	6月	7月
大阪府	122.9	P 120.6	
近畿	101.5	P 101.5	
全国	106.0	106.5	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、6月速報)

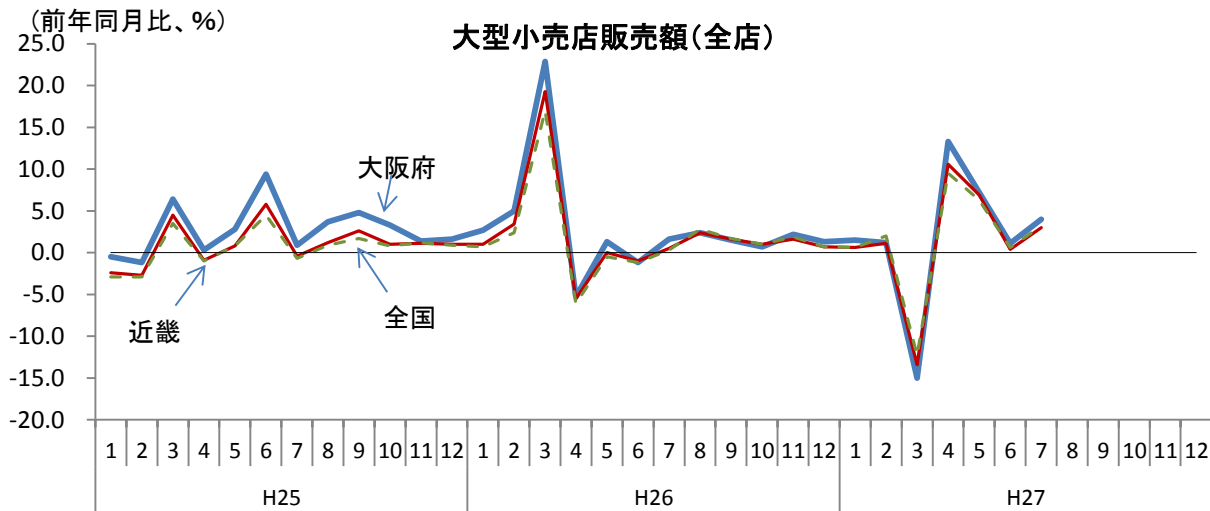
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	関西大口電力使用量(合計)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
▲0.61	0.16	0.24	0.77	▲0.12	▲0.51	1.01

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。家電販売額(6月)、新車販売台数は減少したが、大型小売店販売額、コンビニ販売額は増加した。家計消費支出(近畿)は減少。

○大型小売店販売額(全店)【4ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

大型小売店販売額(全店)

		27年5月	6月	7月
販売額 (億円)	大阪府	1,496	1,453	P 1,605
	前年比 (%)			
	大阪府	7.2	1.1	P 4.0
前年比 (%)	近畿	6.9	0.4	P 3.0
	全国	6.3	0.6	P 3.2

百貨店販売額(全店)

		27年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	6.0	0.2	P 2.9
	全国	5.8	▲0.2	P 3.1

スーパー販売額(全店)

		27年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	8.4	2.0	P 4.9
	全国	6.5	0.9	P 3.1

家電大型専門店販売額(全店)

		27年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	16.9	0.5	P 6.6
	全国	11.3	▲4.6	P 4.8

ドラッグストア販売額(全店)

		27年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	21.9	15.3	P 13.9
	全国	14.9	8.6	P 6.7

ホームセンター販売額(全店)

		27年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	8.2	▲3.9	P 4.0
	全国	7.8	▲1.3	P 1.9

○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は29ヶ月連続の増加。】

		27年5月	6月	7月
販売額(億円)	近畿	1,368	1,340	P 1,472
	前年比 (%)			
前年比 (%)	近畿	7.3	6.0	P 6.0
	全国	6.4	4.6	P 5.3

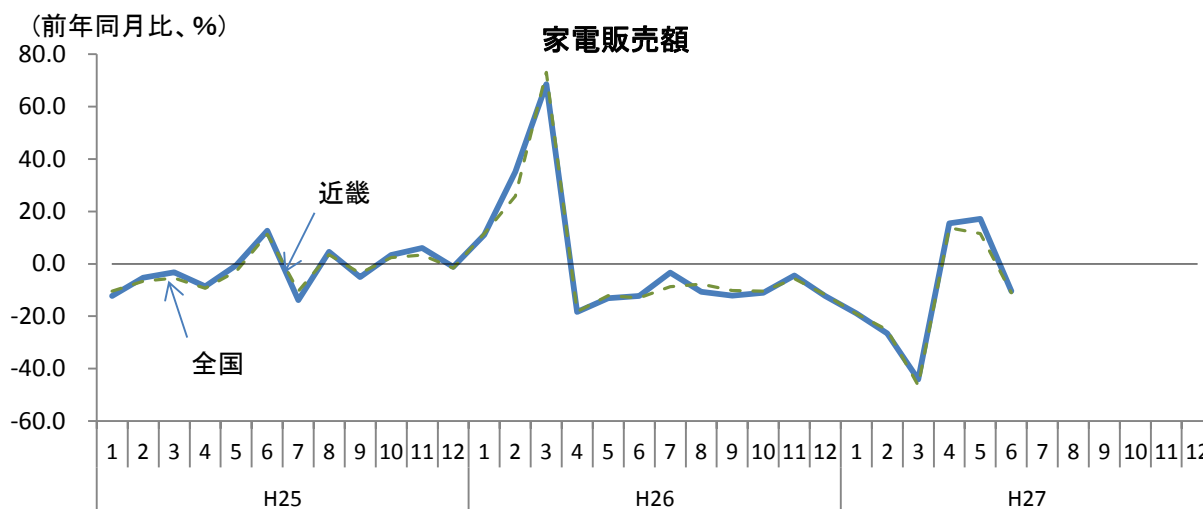
○家計消費支出【近畿は2ヶ月連続の減少。】

		27年5月	6月	7月
円	近畿	285,790	256,285	274,454
前年比 (%)	近畿	6.2	▲8.3	▲3.4
	全国	5.5	▲1.5	0.1

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【近畿(6月)は3ヶ月ぶりの減少。】



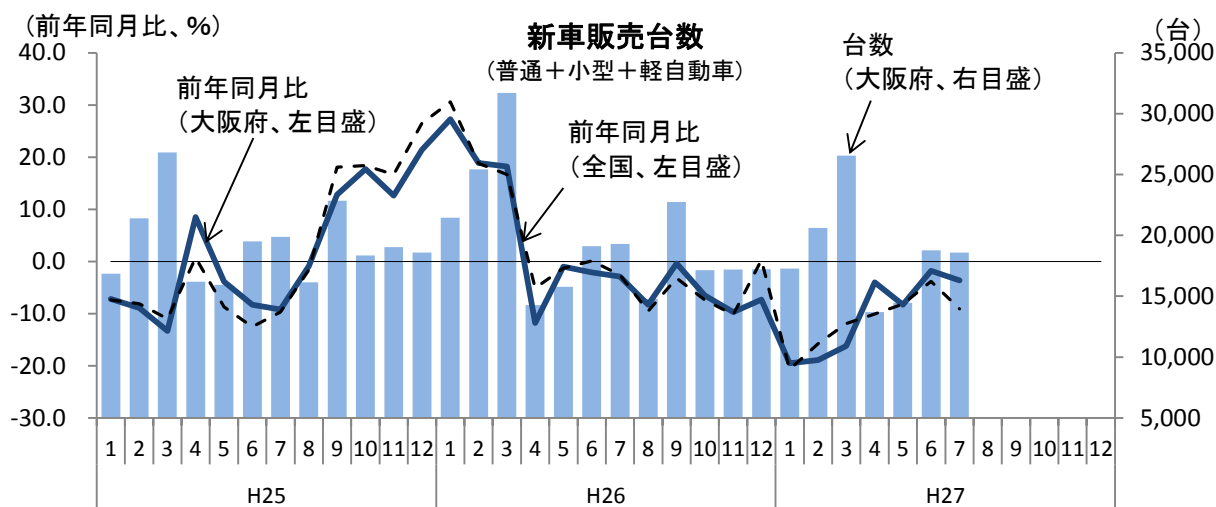
(資料) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

		27年5月	6月	7月
前年比 (%)	近畿	17.2	▲10.4	
	全国	11.6	▲11.1	

商品別の主な増減(近畿、6月)

「理美容健康器具」等が前年を上回ったものの、「エアコン」、「パソコン(本体)」等が前年を下回った。

○新車販売台数【前年同月比で16ヶ月連続の減少。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

		27年5月	6月	7月
販売額(台)	大阪府	14,463	18,762	18,595
前年比 (%)	大阪府	▲8.3	▲1.8	▲3.6
	全国	▲8.2	▲3.8	▲9.1

車種別の増減

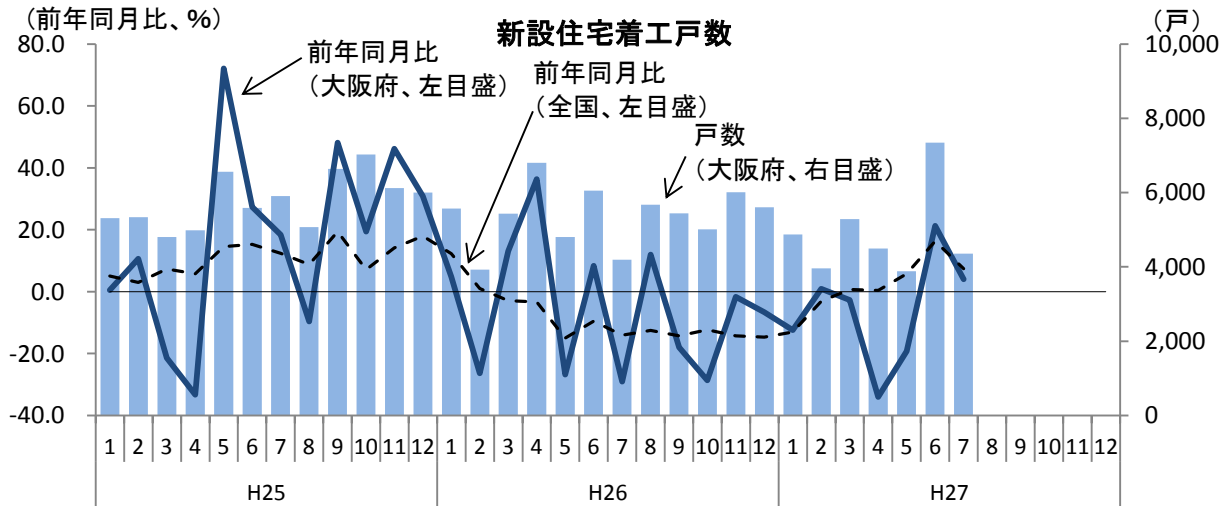
(大阪府、前年同月比(%)、7月)

普通車	小型車	軽自動車
10.7	▲2.2	▲20.9

[需要] 投資

投資は、下げ止まりつつある。非居住用建設投資は減少したが、住宅投資は増加した。公共投資は減少。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】

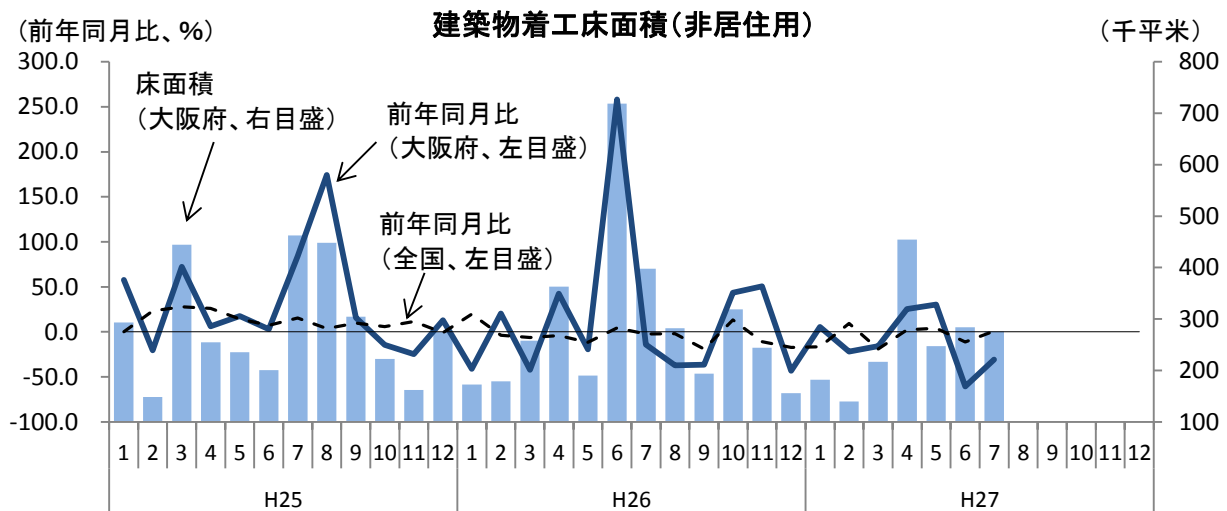


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		27年5月	6月	7月
戸数	大阪府	3,882	7,345	4,358
前年比 (%)	大阪府	▲19.2	21.3	4.0
	全国	5.8	16.3	7.4

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%）、7月)		
持家	貸家	分譲
16.5	0.5	3.1

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月連続の減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

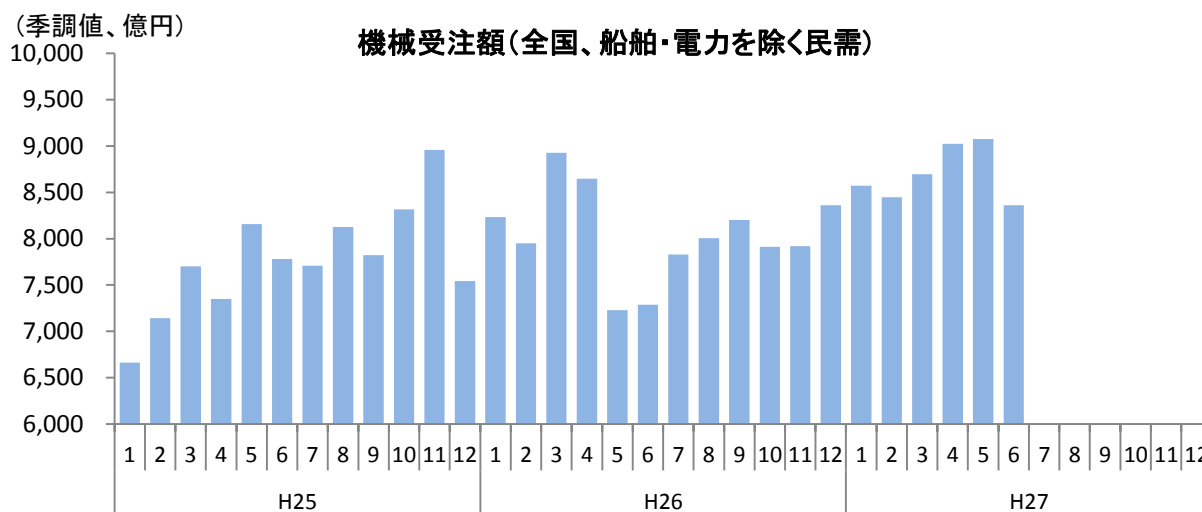
		27年5月	6月	7月
千 m ²	大阪府	247	284	276
前年比 (%)	大阪府	30.4	▲60.5	▲30.7
	全国	4.1	▲11.3	0.9

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%）、7月)	
増加	金融業・保険業(12.9) 卸売業・小売業(6.8)
減少	その他のサービス業(▲54.8)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

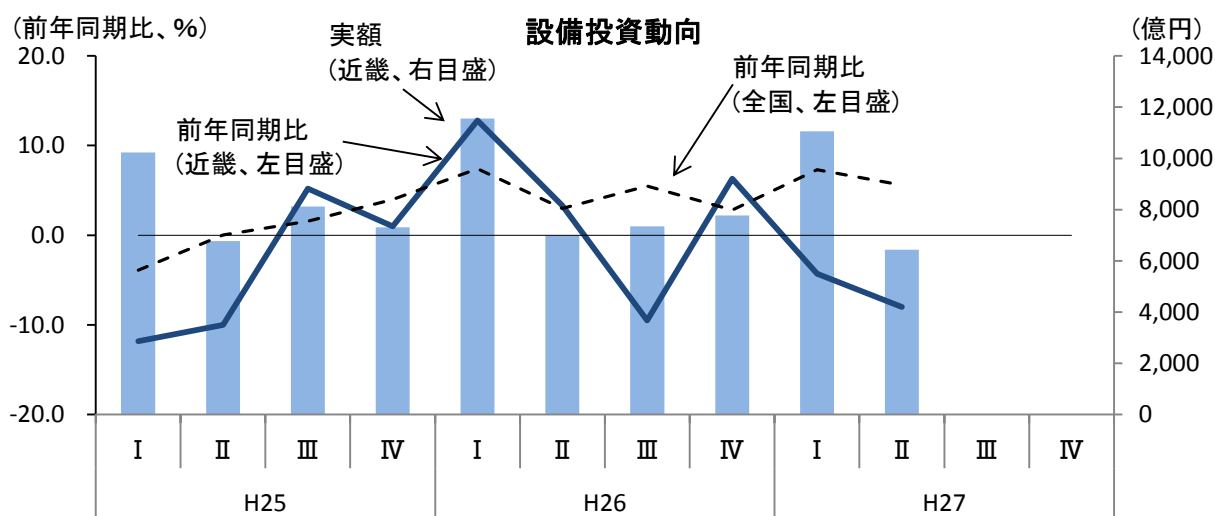
○機械受注額【6月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	27年5月	6月	7月
全国(億円)	9,076	8,359	

○設備投資動向【4~6月期(近畿)は前年同期比で減少。「製造業」、「非製造業」はともに減少。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		26年10~12月	27年1~3月	4~6月
億円	近畿	7,768	11,051	6,438
前年同期比 (%)	近畿	6.3	▲4.3	▲8.0
	全国	2.8	7.3	5.6

○公共工事請負金額【2ヶ月ぶりの減少。】

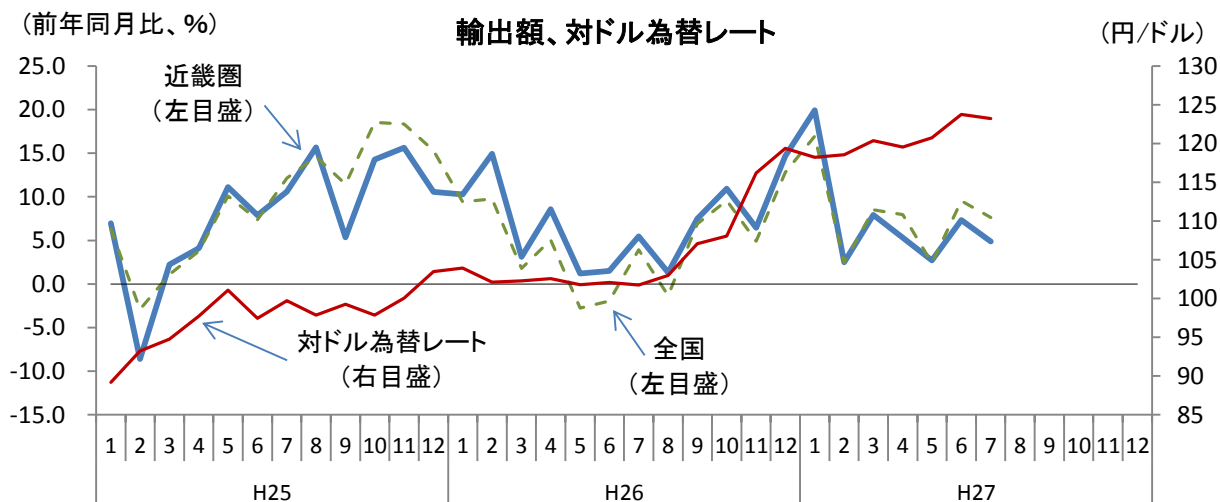
		27年5月	6月	7月
億円	大阪府	401	852	459
前年比 (%)	大阪府	▲17.8	23.6	▲24.1
	全国	▲14.0	▲1.8	▲10.1

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

[需要] 貿易・貨物

輸出は、緩やかに改善している。輸出額は29ヶ月連続で増加。主要国向けでは、中国向け以外の地域で増加。輸入額は5ヶ月連続の減少。関空取扱貨物量は増加。

○輸出額【29ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「通信機」などが増加。主要国・地域向けでは、中国向け以外の地域向けで増加。】



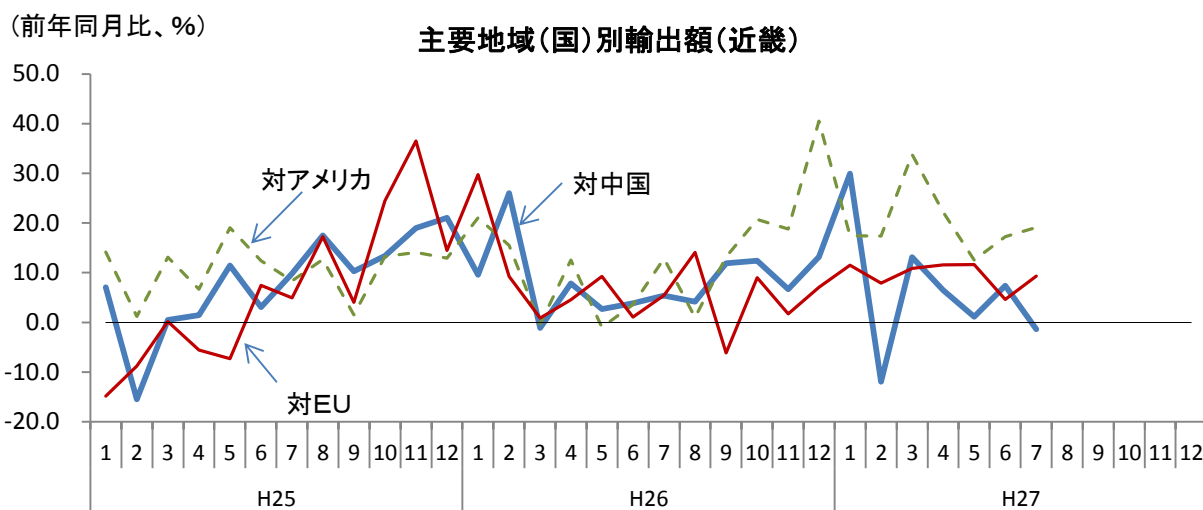
(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		27年5月	6月	7月
輸出額(億円)	近畿	12,643	13,834	P 13,745
前年比 (%)	近畿	2.7	7.3	P 4.9
	全国	2.4	9.5	P 7.6
為替レート(円/ドル)		120.74	123.75	123.23

品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、7月)

増加	半導体等電子部品、通信機
減少	鉱物性燃料、有機化合物



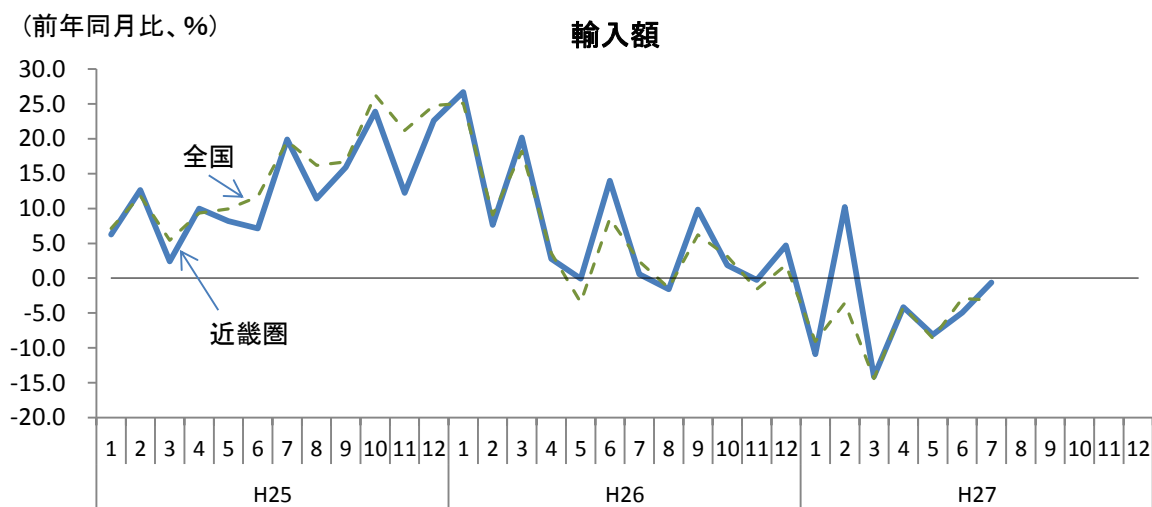
(資料) 大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、7月)

アジア(含む中国)	4.3	11ヶ月連続の増加
中国	▲1.4	5ヶ月ぶりの減少
EU	9.3	10ヶ月連続の増加
アメリカ	19.1	14ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・貨物

○輸入額【5ヶ月連続の減少。「天然ガス及び製造ガス」、「原油及び粗油」などが減少。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		27年5月	6月	7月
輸入額(億円)	近畿	11,566	P 12,478	P 13,653
前年比 (%)	近畿	▲8.1	P ▲4.9	P ▲0.6
	全国	▲8.6	P ▲2.9	P ▲3.2

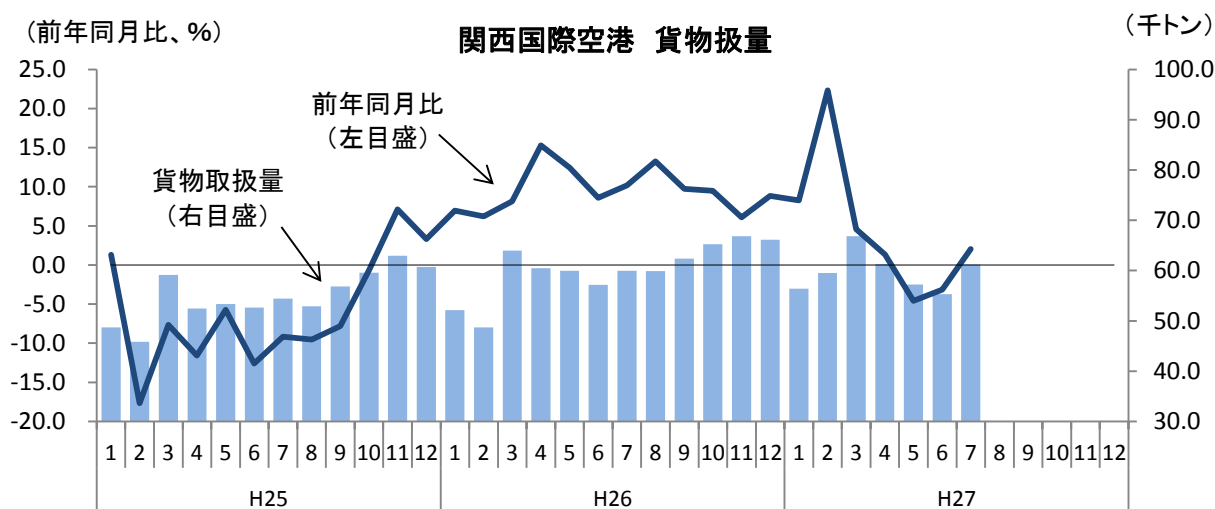
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、7月)

増加	通信機、有機化合物
減少	天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、7月

アジア(含む中国)	7.6	2ヶ月連続の増加
中国	12.1	3ヶ月連続の増加
EU	18.4	2ヶ月ぶりの増加
アメリカ	▲1.0	6ヶ月ぶりの減少

○関空取扱貨物量【前年同月比で3ヶ月ぶりの増加】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」

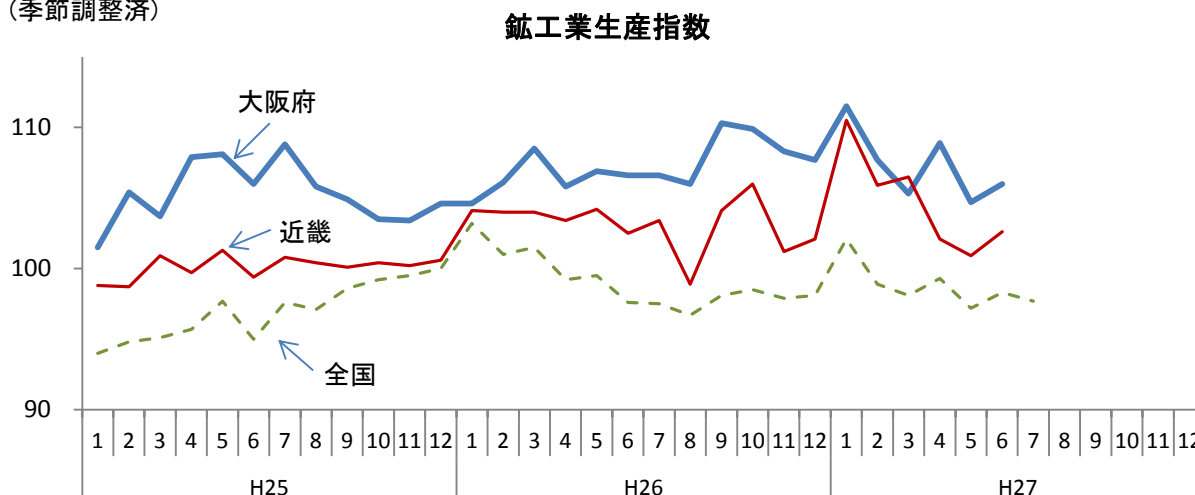
	27年5月	6月	7月
千トン	P 57.2	P 55.3	P 61.2
前年比(%)	P ▲4.6	P ▲3.2	P 2.0

[供給] 生産

生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(6月)は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(6月)は上昇、全国の生産(7月)は低下。在庫循環は在庫調整・在庫減らし局面。

○**鉱工業生産指数【大阪府(6月)は2ヶ月ぶりの上昇。「化学」、「輸送機械」などが上昇。近畿(6月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの上昇。全国(7月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの低下。】**

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

季調済	27年5月	6月	7月
大阪府	104.7	P 106.0	
近畿	100.9	102.6	
全国	97.2	98.3	P 97.7

産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、6月速報)

上昇	化学(5.3):化粧品、分解ガソリン 輸送機械(10.1):自動車用駆動伝導・操縦装置部品、シャシー・車体部品 その他(3.6):工業用ゴム製品、木製棚
低下	電子部品・デバイス(▲11.9):液晶素子 金属製品(▲14.6):橋りょう、鉄骨 はん用・生産用・業務用機械(▲1.2):専用機、印刷機械

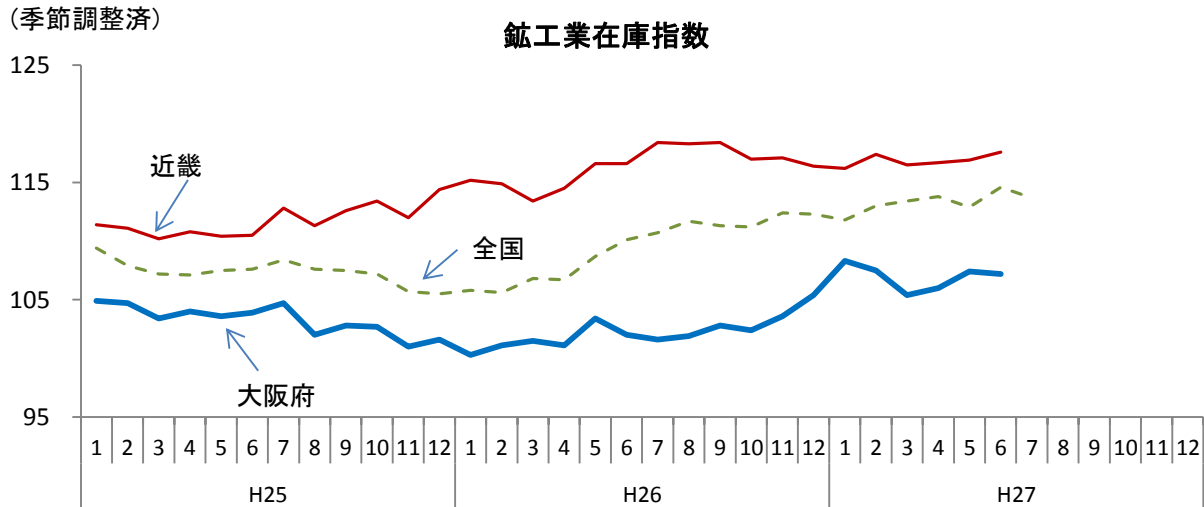
○**鉱工業出荷指数【大阪府(6月)は2ヶ月ぶりの上昇。「化学」、「はん用・生産用・業務用機械」、などが上昇。近畿(6月)は5ヶ月ぶりの上昇。全国(7月)は2ヶ月ぶりの低下。】**

季調済	27年5月	6月	7月
大阪府	93.3	P 95.1	
近畿	98.8	100.0	
全国	96.0	96.6	P 96.3

(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

[供給] 生産

○**鉱工業在庫指数【大阪府(6月)は3ヶ月ぶりの低下。「化学」、「鉄鋼」などが低下。近畿(6月)は3ヶ月連続の上昇。全国(7月)は2ヶ月ぶりの低下。】**

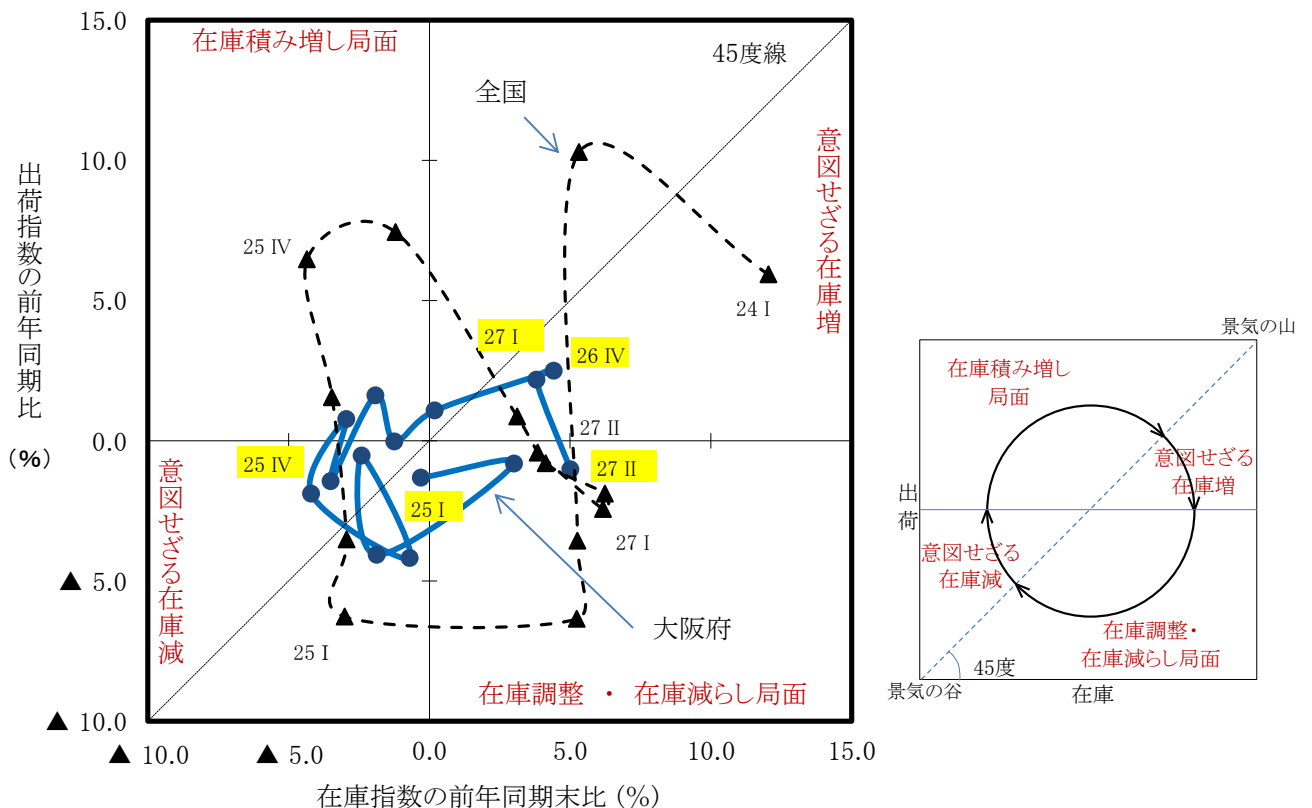


(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。H22=100。

季調済	27年5月	6月	7月
大阪府	107.4	P 107.2	
近畿	116.9	117.6	
全国	112.9	114.6	P 113.7

○**在庫循環図【大阪府は在庫調整・在庫減らし局面。全国は在庫調整・在庫減らし局面。】**



(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、経済産業省「鉱工業指数」、内閣府「鉱工業の在庫循環図と概念図」

※出荷指数は原数値の四半期平均、在庫指数は原数値の四半期期末月の数値。

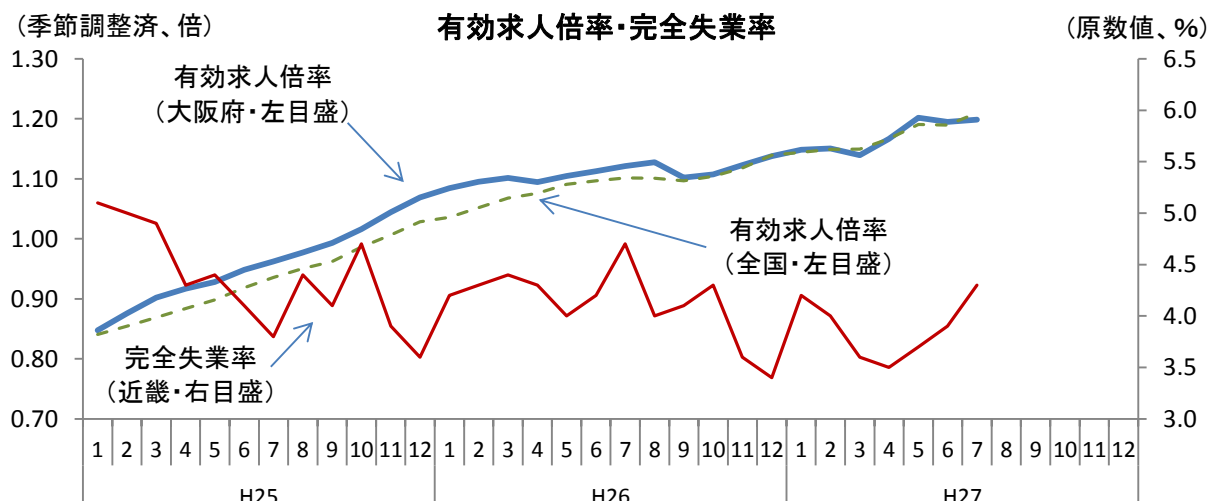
大阪府は製造工業指数。四半期は暦年ベース。

[供給] 雇用・倒産

雇用は、改善している。近畿の失業率は改善、所定外労働時間(6月)は減少。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○完全失業率【近畿は前年同月差で6ヶ月連続の低下(改善)。】

有効求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりの上昇】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月連続の低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	27年5月	6月	7月
%	3.7	3.9	4.3
前年同月差	▲0.3	▲0.3	▲0.4

完全失業率(全国、季節調整値)

	27年5月	6月	7月
%	3.3	3.4	3.3
前月差	0.0	0.1	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	26年10~12月	27年1~3月	4~6月
大阪府	4.3	4.4	4.2
近畿	3.7	3.9	3.7
全国	3.3	3.5	3.4

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	27年5月	6月	7月
大阪府	1.20	1.19	1.20
全国	1.19	1.19	1.21

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	27年5月	6月	7月
大阪府	1.88	1.86	1.82
全国	1.78	1.78	1.83

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

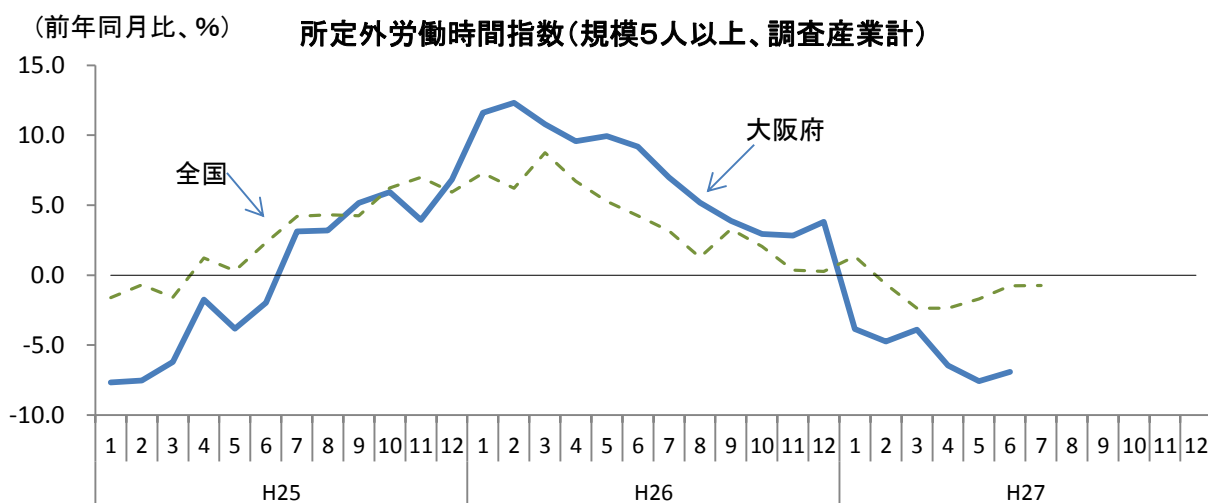
新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

	27年5月	6月	7月
産業計	▲3.9	▲0.6	3.1
建設業	▲18.3	▲5.0	▲11.5
製造業	▲13.1	1.1	▲2.1
卸売業、小売業	11.7	▲0.3	▲1.1
宿泊業、飲食サービス業	5.9	▲19.8	31.1
医療、福祉	12.9	16.9	10.4

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」
※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用・倒産

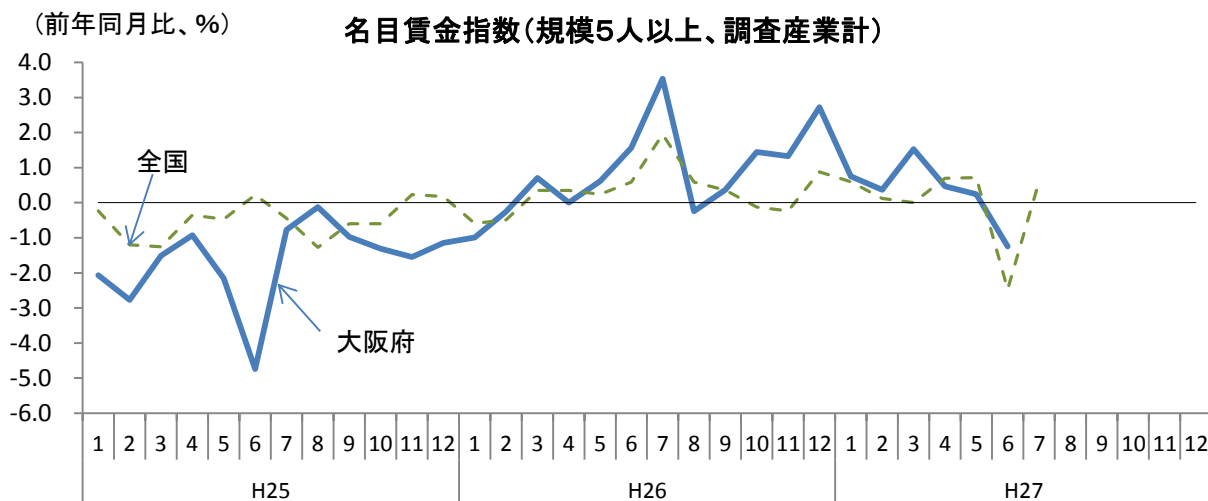
○所定外労働時間指数【大阪府(6月)は6ヶ月連続の減少。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

		27年5月	6月	7月
指数	大阪府	107.3	106.3	
前年比 (%)	大阪府	▲7.6	▲6.9	
	全国	▲1.7	▲0.8	P ▲0.7

○名目賃金指数【大阪府(6月)は10ヶ月ぶりの低下。】



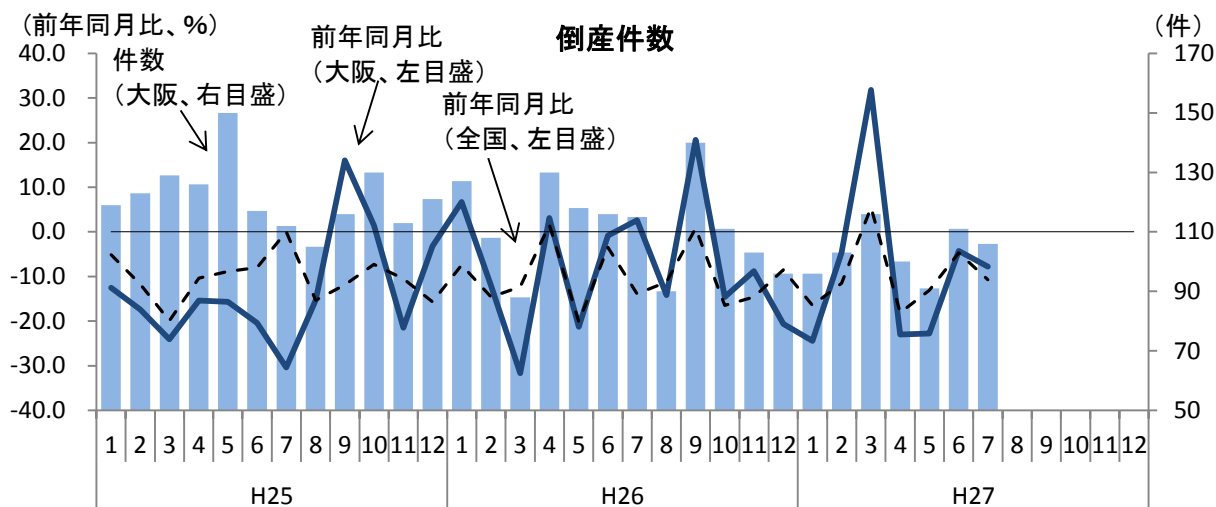
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
 ※前年同月比は名目賃金指数(H22=100)による。

		27年5月	6月	7月
現金給与総額(円)	大阪府	278,891	458,125	
前年比 (%)	大阪府	0.2	▲1.2	
	全国	0.7	▲2.5	P 0.6

※前年比は名目賃金指数(H22=100)による。

[供給] 雇用・倒産

○倒産【倒産件数は前年同月比で4ヶ月連続の減少(改善)、負債金額は前年同月比で4ヶ月連続の減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		27年5月	6月	7月
件	大阪府	91	111	106
前年比 (%)	大阪府	▲22.8	▲4.3	▲7.8
	全国	▲13.1	▲4.7	▲10.7

負債金額

		27年5月	6月	7月
億円	大阪府	42	161	92
前年比 (%)	大阪府	▲65.5	▲9.1	▲25.6
	全国	▲25.9	▲33.9	▲7.2

主要業種の倒産件数(大阪府)

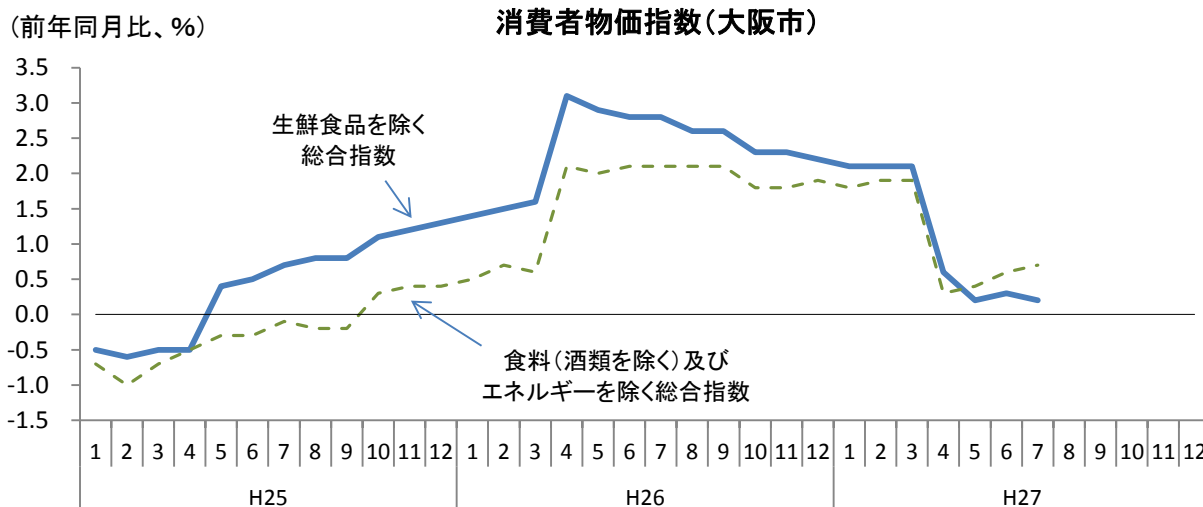
	27年5月	6月	7月
建設業	14	22	20
製造業	13	24	25
卸売業	18	25	22
小売業	14	13	10
サービス業	21	20	24

主な倒産(大阪府、7月)

業種	負債額 (百万円)	倒産原因
軽衣料・日用雑貨卸	1,443	過小資本
衣料品製造加工	1,233	他社倒産の余波
紳士服輸入卸	650	販売不振
包装資材・食品容器卸	500	過小資本
製缶業、配管工事	493	販売不振

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 27 ヶ月連続で上昇。「食料」が上昇に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は 22 ヶ月連続で上昇。】



（資料）大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」 ※H22=100

総合指数(H22=100)

		27年5月	6月	7月
指数	大阪市	103.6	103.4	P 103.3
前年比 (%)	大阪市	0.7	0.6	P 0.6
	全国	0.5	0.4	0.2

生鮮食品を除く総合指数(H22=100)

		27年5月	6月	7月
指数	大阪市	103.1	103.2	P 103.1
前年比 (%)	大阪市	0.2	0.3	P 0.2
	全国	0.1	0.1	0.0

食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H22=100)

		27年5月	6月	7月
指数	大阪市	100.8	100.8	P 100.9
前年比 (%)	大阪市	0.4	0.6	P 0.7
	全国	0.4	0.6	0.6

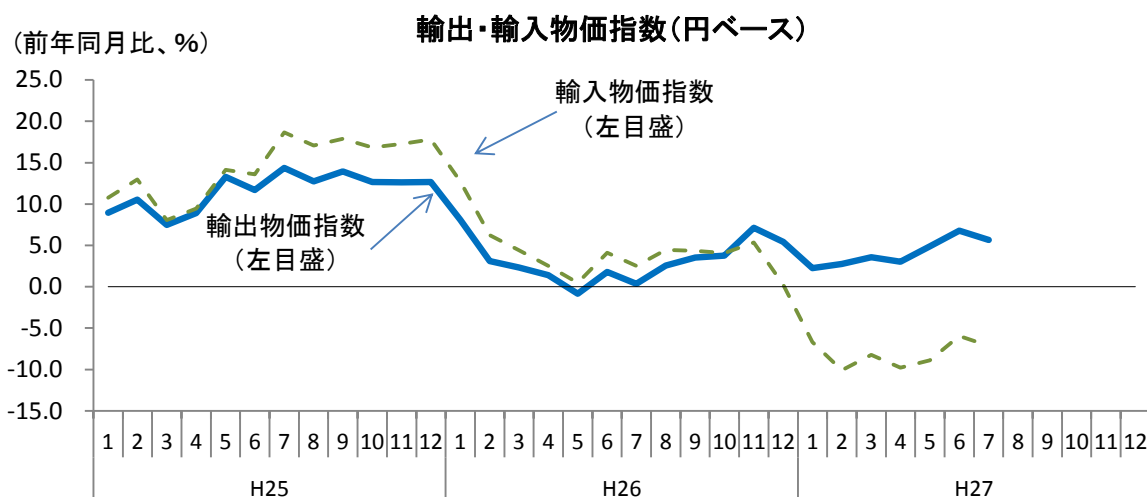
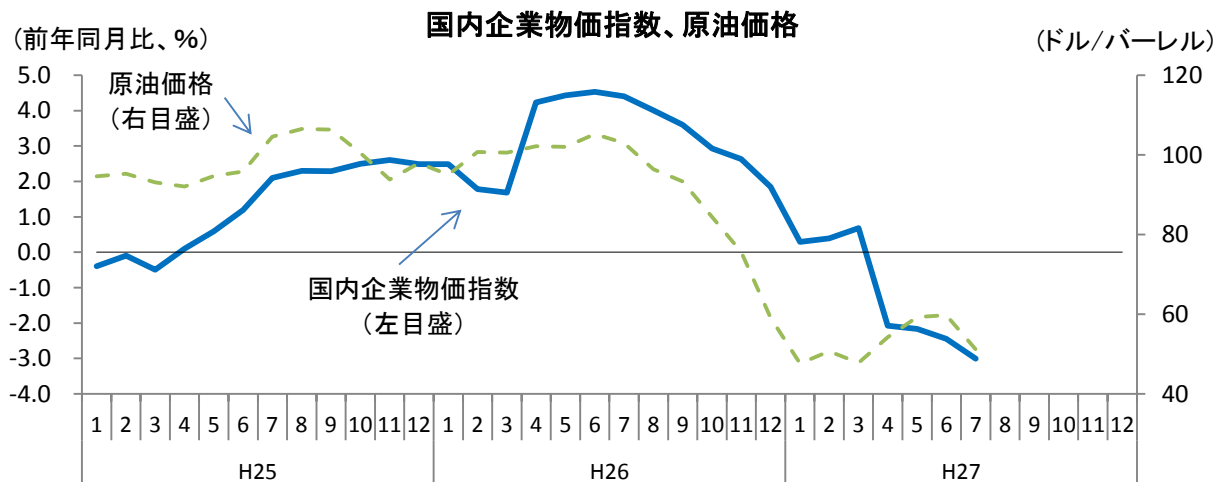
総合指数において主に変動した分類

（大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、7月速報）

上昇	食料(1.9):野菜・海藻(じゃがいも、さやいんげん、だいこん)、果物(バナナ、りんご B、レモン)
	教養娯楽(1.4):教養娯楽用耐久財(カメラ、テレビ、携帯用オーディオプレーヤー)、教養娯楽サービス(サッカー観覧料、テーマパーク入場料、宿泊料)
低下	光熱・水道(▲3.5):他の光熱(灯油)、ガス代(都市ガス代、プロパンガス)
	交通・通信(▲1.1):自動車等関係費(自動車バッテリー、ガソリン、カーナビゲーション)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数、輸入物価指数は低下、輸出物価指数は上昇。原油価格は低下。】



(資料)日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

企業物価指数

	27年5月	6月	7月
国内企業物価指数	103.8	103.6	P 103.4
輸出物価指数	113.5	115.3	P 114.0
輸入物価指数	114.7	118.7	P 116.9

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。H22=100。

原油価格 (WT1)

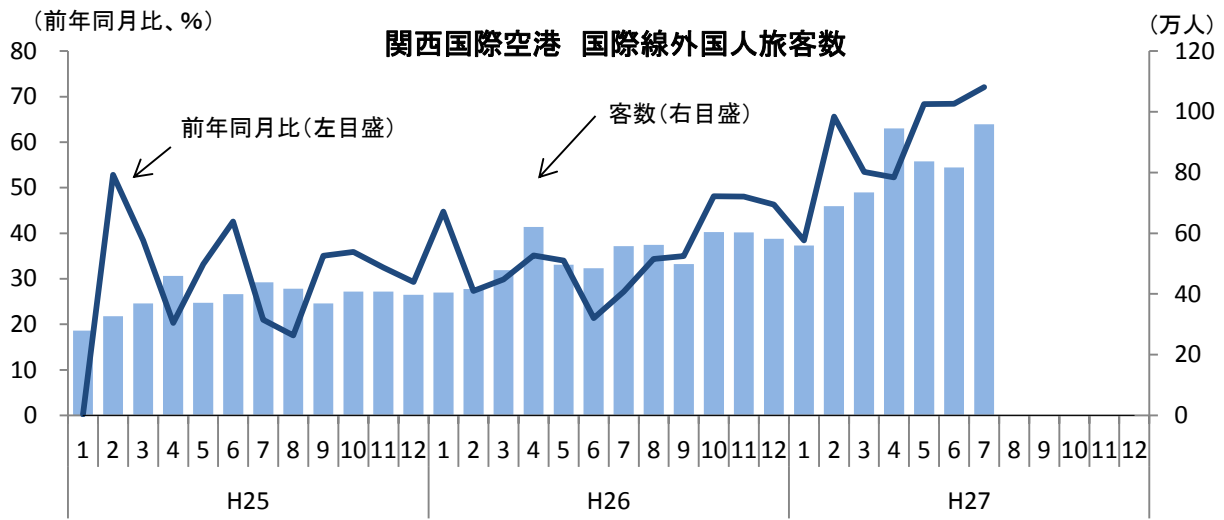
	27年5月	6月	7月
ドル/バーレル	59.26	59.80	51.16

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(7月速報、寄与度(%))

電力・都市ガス・水道 (0.04) : 業務用高压電力、産業用高压電力、低压電力
農林水産品 (0.03) : 豚肉
石油・石炭製品 (▲0.12) : ガソリン、軽油、A重油
非鉄金属 (▲0.09) : 銅地金、アルミニウム合金・同二次合金地金、金地金
スクラップ類 (▲0.03) : 鉄くず

[その他] 観光

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で41ヶ月連続の増加。】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」

	27年5月	6月	7月
万人	83.6	P 81.7	P 95.9
前年比(%)	68.4	P 68.5	P 72.1